

AMED・A-STEPとは

Adaptable and Seamless Technology Transfer Program through Target-driven R&D

研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)は、平成21年度より国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)により開始された、大学や公的研究機関などで生まれた優れた技術シーズを実用化することにより社会へ還元することを目指す、技術移転支援のためのファンディングプログラムです。支援領域は、グリーンイノベーション、ライフイノベーション、ナノ・材料、情報通信技術、社会基盤、ものづくりの分野にわたり、シーズの発掘、可能性検証から企業主体の実用化開発まで、それぞれの研究開発フェーズの特性に応じた複数の支援タイプを設定しています。平成26年度末時点で、JSTにおいて6,352件の研究開発課題について支援が実施され、その中から起業化に至ったもの、製品化に至ったもの、多くの成果が生み出されてきました。

平成27年4月1日にAMEDが設立されるに伴い、それら研究開発課題のうち医療分野の88課題(医療技術分野43課題、創薬分野45課題)をJSTから引き継ぎ、医療分野研究成果展開事業のプログラムの1つとして実施しています。

支援タイプ名 <small>サブタイプ名</small>		概要	研究開発期間/ 研究開発費の総額(間接経費込)	研究開発フェーズ <small>期待されるアウトプット例</small>
【FS】 ステージ	産学共同研究のためのシーズの単体 探索タイプ	産業界への技術移転の可能性を探索すべく、研究開発を支援するとともに、産学連携に向けたコーディネート活動を促進	原則 1年間/ 基準額170万円 (~300万円まで)	シーズ発掘・可能性検証 (装置)要素技術 (デバイス)動作原理 (材料)ラポレベル合成 (医薬品) 化合物ライブラリ (医療機器) 要素技術・試作機
	シーズ顕在化 タイプ	産業界の視点から見出された、シーズ候補を対象に、シーズの実現可能性を産学共同で検証する挑戦的な研究開発を支援	原則 1年間/ 基準額800万円 (~1,000万円まで)	
【起業挑戦】 ステージ	アカデミア主体による起業 タイプ	起業家と研究者が協力したベンチャー企業設立のための研究開発・起業準備を支援	最長3年間 1億5,000万円まで 別途、起業支援経費として 1,500万円まで	シーズの実用性検証・ 産業界への技術移転 (装置)プロトタイプ (デバイス)試作デバイス (材料)テストプラント (医薬品)前臨床 (医療機器)前臨床
	若手起業 育成	若手研究者(起業研究員)による、自らの研究成果の実用化を目指した研究開発を支援。若手研究者の起業家へのキャリアパス形成を促進	最長 3年間 4,500万円まで 別途、起業支援経費として 300万円まで	
【産学共同促進】 ステージ	マッチングプラットフォームによる実用化検証 挑戦タイプ	顕在化したシーズの実用性検証から実証試験までの研究開発フェーズを対象に、リスクの高い研究開発を支援。技術的リスクの低減を目指す	最長 3年間/ 6,000万円まで 支出割合(JST/AMED:企業) 6:1(資本金10億円以下の企業) 3:1(資本金10億円超の企業)	実証試験・実用化 (装置)一号機 (デバイス)実デバイス (材料) パイロットプラント (医薬品)臨床試験 (~Phase IIaあるいは 製造販売承認) (医療機器)臨床試験
	シーズ育成 タイプ	顕在化したシーズの実用性検証のため、中核技術の構築を目指した本格的な産学共同研究開発を支援	最長 4年間/ 2億円まで 支出割合(JST/AMED:企業) 2:1(資本金10億円以下の企業) 1:1(資本金10億円超の企業)	
【実用化挑戦】 ステージ	実用化挑戦タイプ 実用化挑戦タイプ	研究開発型中小・ベンチャー企業での実用化に向けた開発を支援	最長 5年間/ 3億円まで 売上に応じて実施料を納付	
	創業開発	企業による革新的な医薬品の実用化開発を支援(~Phase IIa相当を想定)	最長 5年間/ 10億円まで 売上に応じて実施料を納付	
	委託開発	企業による開発リスクを伴う大規模な実用化開発を企業規模によらず支援	最長 7年間/ 20億円まで 売上に応じて実施料を納付 開発成功後、開発費全額を返済 (10年賦、不成功時10%返済)	

※本表は、JSTからAMEDに移管した当時のスキームです。

AMEDにおいてはA-STEP新規公募は実施しておりません。新制度として産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M及びACT-Mセットアップ)を創設しております。今後の公募はACT-M、ACT-Mセットアップ、及び平成28年度補正予算による新制度(医療研究開発革新基盤創成事業CICLE)で行います。


研究内容に応じた支援で、成果の実用化を推進

医療分野研究成果展開事業
研究成果最適展開支援プログラム

AMED A-STEP

Adaptable and Seamless Technology Transfer Program
through Target-driven R&D

 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞ビル
産学連携部産学連携課 AMED・A-STEP事務局
Tel : 03-6870-2214
e-mail: sangaku@amed.go.jp
ホームページ: http://www.amed.go.jp/

